

パラ・パワー・ニュース

報告：特定非営利活動法人日本パラ・ パワーリフティング連盟、事務局

問合先 : ファックス 03-6229-5420
電話 : 03-6229-5423 吉田、久保
メール : jppf.jimu@gmail.com
ホームページ : <http://www.phouse.jp/>

リオ参加選手の取材続々



大舞台 秀樹

パラ・パワーリフティング 88キロ級

リオは通過点。「東京でヒーローになりたい」

東京でメダルを取る

Hideki Odo
powerlifter、おだひでき、1974年10月17日生まれ。東京出身。日本選手権、18歳のときの交流試合で優勝を飾る。入団中に海外へベンチプレスに挑戦する。海外での練習でパワーリフティングを始める。東京パラリンピック出場を目指して、ロシア・パワースタートで練習する。身長194cm、体重198kg。2016年のリオパラリンピックで日本代表（198kg）を戦える。

Para Powerlifting JAPAN CUP 2016

Lift for Tomorrow

2016 年 パラ・パワーリフティング ジャパンカップ

北九州市ホストタウン交流事業
スポーツ振興くじ事業

日時	平成 28 年 6 月 26 日（日） 10 時 45 分開会式；11 時 15 分競技開始		
会場	小倉北体育館		
主催	特定非営利活動法人日本パラ・パワーリフティング連盟		
共催	北九州市		
後援	IPC Powerlifting	公益財団法人日本障がい者スポーツ協会	日本パラリンピック委員会
	毎日新聞社	RKB 毎日放送	
協力	日本財団パラリンピックサポートセンター		
協賛	公益財団法人西日本産業貿易コンベンションセンター	大塚製薬株式会社	

■ Road to Tokyo 2020

2016年9月リオデジャネイロパラリンピックが開催されますが、既に、本年6月のジャパンカップから「東京パラリンピックへの道」の第一歩が始まります。その「道」は次の通りです。

1 ジャパンカップ（2016年6月26日、北九州市立小倉北体育館）

＊ I P C 登録（毎年更新）

＊ I P C パワーリフティングクラス分けを受けている事。

以上の2つの条件を満たした選手のジャパンカップの大会結果記録がI P C 世界ランキングに反映されます。

2 全日本選手権（2016年12月3日、東京都世田谷区、日本体育大学記念講堂）

I P C 公認大会を申請しますので、この大会結果がI P C 世界ランキングに反映されます。

3 ドバイワールドカップ（2017年2月28～3月4日、ドバイ、U A E）

まだ、I P C パワーリフティングクラス分けを受けていない選手で、東京を目指したい選手はクラス分けを受けるためにドバイ大会にご参加ください。（自費参加となります）既に、世界ランキング登録条件を見たいしている選手は、上記、1, 2より、少しでも記録を上げてください。（自由参加、強化指定選手以外は自費参加）

4 2017年ジャパンカップ（日時未定）

世界大会参加標準記録突破最終チャンス。

この大会までに、世界大会参加標準記録を突破していることが、最低限の東京パラへの道となります。

5 2017年I P C パワーリフティング世界選手権

（2017年9月29日～10月6日）

上記、1, 2, 3, 4の大会で世界選手権参加標準記録を獲得した選手が参加できます。この大会に参加していないと、ジュニアの選手を除いて、東京パラへの道は開けません。また、この大会は、パラ・水泳と同時開催になります。

6 2017年全日本選手権（日時未定）、2018年ジャパンカップ（日時未定）

これらの大会で少しでも少しでも記録を伸ばしてください。

7 2018年I P C パワーリフティングアジアオープン選手権大会

（2018年9月5日～9日予定、北九州市芸術劇場）

アジア地区の選手は、この大会に出場していることが必須です。この大会に出場していないと、東京パラへの道は開けません。

8 2019年世界選手権（マレーシア予定）

この大会参加は必須です。

9 その他国際大会に1つ以上参加すること

10 2019年全日本選手権（日時未定）、2019年ジャパンカップ（日時未定）

これらの大会で、少しでも記録を伸ばしてください。

11 2020年の東京パラリンピック指名ランキング締切日

予想では、2020年2月末日。この日までに、出来るだけ記録を伸ばしてください。

12 IPCの指名

パワーリフティングの場合は、パラリンピックに参加できる選手は、IPCによって指名されます。その指名を受けるには、上記のとおりIPC指定の大会に出場していなければなりません。指定大会とは、2017年世界選手権（メキシコ）、2018年アジア選手権（福岡県北九州市）、2019年世界選手権（マレーシア）、その他国際大会をもう一つ以上参加すること、です。

2016年の目標

- 1、世界ランキングに登録できる体制を整える。（IPC登録、クラス分け）
- 2、そして、世界標準突破を目指す。

世界標準突破チャンスは、次の4大会

- 1、ジャパンカップ（6/26）
- 2、全日本選手権（12/3）
- 3、ドバイワールドカップ（年明け2/28-3/4、自由参加による連盟派遣）
- 4、2017年のジャパンカップ（日程未定）



写真は2012年ロンドンパラリンピックで観客にアピールする宇城元選手